

この度平成 24 年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了致しました。
記

▼事業スケジュール

2011（自主事業）

- ・生活・事業再建ハンドブック配布
- ・大槌、釜石、陸前高田 聞き取り調査

当該事業

2012 : 6/23~7/17

釜石市仮設住宅アンケート調査
有効回答総数:333 件



2012 : 8/11

第 1 回 意見交換会
@釜石市仮設住宅



2012 : 8/26

第 2 回 意見交換会
@大阪市



2012 : 9/7

第 3 回 意見交換会
@釜石市教育センター



2012 : 11/9

第 4 回 意見交換会
@早稲田大学

▼事業概要

➤ 事業名：平成 24 年度（復興支援）被災地域の記録、調査活動 補助事業

➤ 事業の目的：

震災から1年以上が経過する中、復興支援に係る関係者間のコーディネーションの改善をはかり、復興の進展を図る。そのため、仮設住宅居住者へ丹念な聞き取り調査を行った上で、それをもとに被災者を含めた復興支援活動の関係者の意見交換等の会合をもち、ニーズの確認・復興情報の共有・以降の協力体制の構築を目指す。一連のプロセスは報告書として取り纏め、関係官庁等に提出し、政策改善の資料と活用する。

➤ 事業内容：

I) 聞き取り調査

釜石市全域の仮設住宅の戸別訪問によるアンケート調査を実施。調査方法はアンケート調査であるが、調査員が戸別訪問し、対話を通じ調査票に記入した。下記が調査内容である。

- (1) 基本情報（性別、年代、震災前の住所、家族、震災前の仕事の有無）
- (2) 震災以降の政府、自治体に対応する評価
- (3) 仮設住宅居住者にとって今必要な支援策に対する意見
- (4) 被災ローン減免制度に対する認識及び金融機関からの案内などの事実確認
- (5) 借入金及びローンの返済状況
- (6) 借入金及びローンに関する懸案事項
- (7) 日常生活における問題及び今後の不安

II) 意見交換会

被災者、復興支援に関わる有識者、ボランティア、一般市民を集めた意見交換会を計4回実施。

本交換会は被災者の生の声を聞く事を通じて、現状の目の前にある問題を正確に認識し、具体的な解決案を模索する為に行われた。

第1回議題：復興住宅に関して、被災ローン減免制度、仮設住宅における問題点他

第2回議題：復興支援の現状と今後の対策について

第3回議題：第1回復興意見交換会で見えた仮設入居者の要望事項
二重債務問題、事業再建と被災ローン減免制度に関して
仮設入居者が抱える生活上の問題に関して

第4回議題：被災地での2回に渡る意見交換会、大阪での有識者会議を踏まえた復興支援策の協議

➤ 予想される事業実施効果：

今回の活動を経て作成した報告書を関係者である釜石市役所、専門家、有識者の方々へ配布しており夫々の復興行政や研究活動に今後、活かしていただく。また被災者の方にも配布し現場の声として様々な場で問題提起を行う上での拠り所とする。

また政策決定者に上申し、復興政策に有効に反映できるようにしていく。今後、復興事業に重責を担う政策決定者を中心に本報告書を届け復興支援策へのアドボカシーに繋げていく。

更には東日本大震災に従事するNPO各団体と協議の場における基礎資料として活用してもらおう所存である。NGOに望む被災者からの声などを出来る限り被災地で活躍するNGOに届けてよく吟味した上で被災者のニーズを基にした活動を各NGOが行い、発展していく一助になれば幸いである。

また当団体の活動の発展にも十分活かしていきたい。現在、被災地において生活再建事業などを進めており、更に今後、市の未使用または低利用の施設を有効活用等によるコミュニティ再生事業及び経済活性化に向けた活動も計画。本報告書に基づき被災地のニーズを踏まえた事業を展開していきたい。

